

# 4月の果実の見通し

区分 品目	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
	前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年 入荷量 (t)	前年 占有率 (%)	
りんご類	6,658	90	5,932	225	150	258	2	0.0	青森産が殆んどを占める。有袋に切り替わるが、廉売できるものが昨年のように多くなく、底値が上がり単価高で推移している。4月の弘前の産地在庫はふじ60%、王林60%、ジョナ50%の見込み。全体の入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。
いちご類	5,521	98	5,126	751	100	762	0	0.0	栃木、福岡、佐賀、茨城、静岡産中心の入荷となる。栃木は低温のため出荷量が少なくB品の発生比率が高い状況が続いていたが、4月には平年並の入荷に回復する見込み。福岡・佐賀・静岡も平年並みに回復してきている。全体の入荷量・価格とも前年並の見込み。
メロン類	1,413	90	1,488	555	120	610	-	-	熊本、茨城、静岡産が中心となる。アンデスメロンは熊本が9割以上を占め、作付は微減で生育は5日程度遅れている。茨城は1割程度作付減で、4月末から入荷開始の見込み。全体の入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。
おうとう	12	90	15	7,466	100	7,650	8	月末から	山形、長野、山梨産が中心となる。品種は佐藤錦、高砂など。各産地とも豪雪と低温、原油高の影響から出発の量は少なく4月末から増量となってくる見込み。全体の入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年並の見込み。